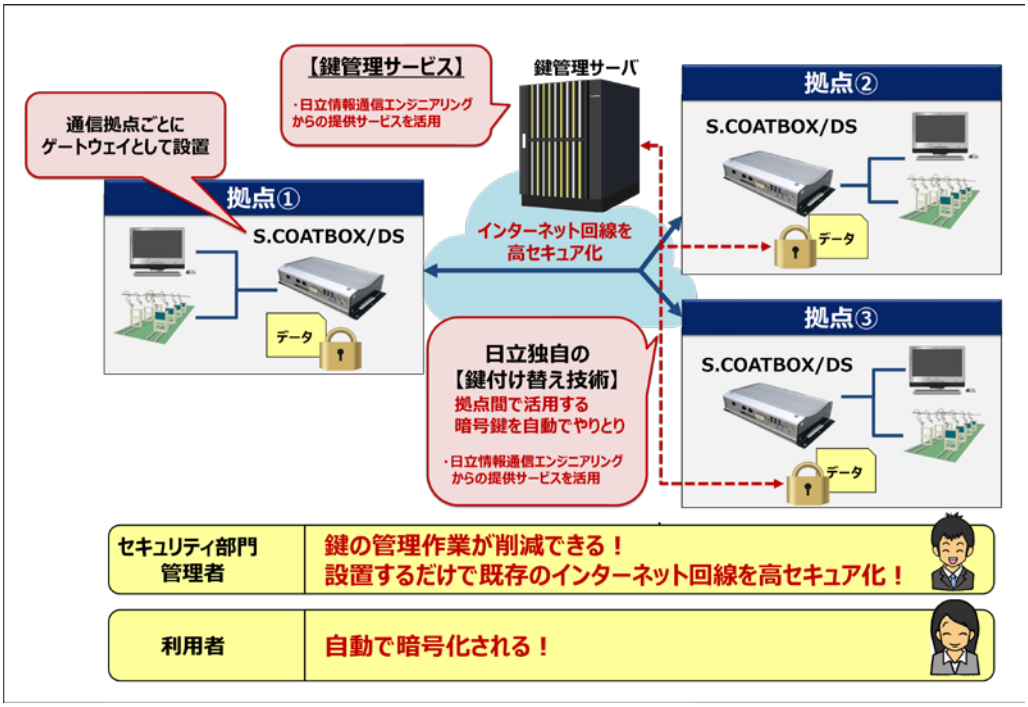
HITACHI
Inspire the Next

News Release

2017 年 10 月 20 日
株式会社日立産業制御ソリューションズ

設置するだけでIoT機器などのデータ通信を保護。日立独自の「鍵付け替え技術」を搭載した暗号化アプライアンス製品「S. COATBOX／DS」を販売開始

既存インターネット環境に設置するだけで、拠点間におけるデータ通信を高セキュア化し、情報漏えいや改ざんを防止。通信機器増加に伴うセキュリティ運用管理作業の軽減を実現。



「S.COATBOX/DS」イメージ

株式会社日立産業制御ソリューションズ(取締役社長：木村　亨／以下、日立産業制御)は、製造業において広がりをみせる IoT[*1] への取り組みを支援するため、既存のインターネット環境にゲートウェイ[*2]として設置するだけで、日立独自の「鍵付け替え技術[*3]」により、拠点間の機密データを保護する暗号化アプライアンス[*4] 製品「S.COATBOX/DS[*5]」(エスコート・ボックス ディーエス)を 2017 年 10 月 20 日に販売開始します。日立産業制御は今後、製造業を中心に本製品を拡販し、2020 年度までに年間 2 億円の受注をめざします。

「S.COATBOX/DS」は設置するだけで外部パソコンの不正接続を防ぎ、社内ネットワークの情報を保護する不正持込 PC 検知＆強制排除システム「S.COATBOX」のシリーズ製品です。

社会の未来を変えるアイデアがここに
Hitachi Social Innovation Forum 2017 | TOKYO

「S.COATBOX」で培った「設置するだけで情報を保護する」手軽さを、インターネットを活用した拠点間のデータ通信において実現します。

近年、IoT への意識の高まりにより、従来は通信機能を備えていなかった機器への通信ニーズが増大しています。製造業においても機器やシステムなどがインターネットを介してデータを共有し、相互制御を行うなどをして、生産性向上につなげる動きが加速しています。それに伴い、通信先として増加する機器やシステム間で共有するデータを保護し、安全で、運用管理においても利便性が高いセキュリティ対策の実現が求められていました。

そこで日立産業制御は、既存のインターネット環境にゲートウェイとして設置するだけで、日立独自の「鍵付け替え技術」により、拠点間で共有する機密データを保護する暗号化アプライアンス製品「S.COATBOX/DS」を開発しました。

「S.COATBOX/DS」は、通信拠点ごとにゲートウェイとして設置するため、IoT 機器、サーバ、PC、PLC*6 など、個々の機器への暗号化に関する設定が不要です。株式会社日立情報通信エンジニアリング(代表取締役社長:岩崎 秀彦／以下、日立情報通信エンジニアリング)が提供する「IoT データセキュリティ」を搭載することにより、株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭)の「鍵付け替え技術」を採用した暗復号ソフトウェアと、お客さまによる暗号鍵管理の運用負荷を軽減する鍵管理サービスが活用できます。

「S.COATBOX/DS」を導入することにより、これまで活用されていた安価なインターネット回線を高セキュア化し、セキュリティ強化と運用管理作業を意識することなく、IoT 推進に必要な機器やシステムなどをインターネットでつなげることが可能となります。

今後、日立産業制御は「S.COATBOX/DS」の拡販を通して、製造業の IoT 化を支援します。

*1 IoT(Internet of Things):モノのインターネット

*2 ゲートウェイ:コンピュータネットワークをプロトコルの異なるネットワークと接続するための接合点・中継点・分岐点

*3 鍵付け替え技術:株式会社日立製作所 特許技術 (特許第 6033741 号)。共通鍵暗号方式の暗号アルゴリズム (AES:Advance Encryption Standard、高度暗号化標準) により、暗号化されたデータを平文にすることなく、異なる暗号鍵に再暗号化する技術で、CELLOS (Cryptographic protocol Evaluation toward Long-Lived Outstanding Security Consortium、暗号プロトコル評価技術コンソーシアム) にて暗号プロトコルの安全性評価済

*4 アプライアンス:特定の機能や用途に特化した専用機器

*5 DS:Data Scramble の略

*6 PLC(Programmable Logic Controller):リレー回路の代替装置として開発された制御装置

■「S.COATBOX/DS」の特長

1. 既存環境に設置するだけで暗号化によりデータを保護

・通信拠点ごとのゲートウェイとして設置するだけで、拠点間のインターネット回線を高セキュア化

・暗号化通信の各種設定は管理サーバから一元的に設定でき運用開始・増設作業の手間を低減

・認証処理や通信プロトコル制限がなく、業務アプリケーションに影響を与えない

2. 暗号鍵管理などの管理者側の運用負担を軽減

・定期的な鍵更新や、拠点増設時の煩雑な作業を削減し、管理者側の負担を低減

・鍵管理サーバからの自動更新により、更新漏れなどによるセキュリティリスクを防止

3. 製造業を想定した長寿命、省スペース化製品

ハードウェアとして日立製作所の産業用コンピュータを採用することにより以下を実現

・高信頼・長寿命設計により 24 時間連続稼働可能

・7 年間センドバック*7 修理対応

・A5 サイズ相当の小型ボックス形状

・組込みが容易なファンレス・ディスクレス設計

*7 センドバック:コンピュータなどが故障した際に、製品をメーカーに送り修理・返送するサービス

■「S.COATBOX/DS」に関する仕様

<table>
<tr><th>名称</th><th colspan="3">詳細</th><th>参考価格
（税抜）</th><th>販売開始時期</th></tr>
<tr><td rowspan="4">S.COATBOX/DS</td><td colspan="3">暗号化アプライアンス製品(2台以上*8)</td><td>¥616,000～*9</td><td rowspan="4">2017 年
10 月 20 日</td></tr>
<tr><td rowspan="3">保守費
（年額）</td><td rowspan="2">ソフトウェア保守</td><td>①
鍵管理サービス（必須）</td><td>¥33,000～*9</td></tr>
<tr><td>②
一般問合せ・障害対応
（オプション）</td><td>オープン</td></tr>
<tr><td>ハードウェア保守
（オプション）</td><td>センドバックによる
修理対応</td><td>オープン</td></tr>
</table>

*8 初回構築時、1台は全拠点管理用の管理サーバとして設定する必要あり

*9 最低構成の 2 台の価格

なお、「S.COATBOX/DS」は、「Hitachi Social Innovation Forum 2017 TOKYO*10」ならびに「SCF2017／計測展 2017 TOKYO*11」の日立ブースに、日立情報通信エンジニアリングと共同出展します。

*10 2017 年 11 月 1 日(水)～2 日(木)開催（東京国際フォーラム）

*11 2017 年 11 月 29 日(水)～12 月 1 日(金)開催（東京ビッグサイト）

■「S.COATBOX/DS」に関するホームページ

http://info.hitachi-ics.co.jp /product/virsecur/scbox/scb_ds.html

■「IoT データセキュリティ」に関するホームページ

http://www.hitachi-ite.co.jp/products/iotsec/index.html

■「Hitachi Social Innovation Forum 2017 TOKYO」に関するホームページ
http://hsiftokyo.hitachi/

■「SCF2017／計測展 2017 TOKYO」に関するホームページ
http://scfmcs.jp/

■注記
・「S.COATBOX」は、株式会社日立産業制御ソリューションズの登録商標です。
・本製品を輸出などされる場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規制など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。

■お客さまお問い合わせ先
株式会社日立産業制御ソリューションズ 営業統括本部 第一営業本部 第一営業部[担当:水谷、土居]
〒110-0006 東京都台東区秋葉原6番1号 秋葉原大栄ビル
電話:03-3251-7241(直通)

■報道機関お問い合わせ先
株式会社日立産業制御ソリューションズ 企画統括本部 経営戦略本部 広報・渉外部[担当:増淵、田川]
〒110-0006 東京都台東区秋葉原6番1号 秋葉原大栄ビル
電話:03-3251-7521(直通)

このニュースリリース記事の情報(製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

以上